

マイナンバーカードの健康保険証利用について

マイナンバーカードの健康保険証利用については、政府より案内されていますので、ニュース等で既にご存じのことと思いますが、令和6年12月2日をもって現行の健康保険証の新規発行が終了します。このことに伴い、厚生労働省から医療機関に対して、マイナンバーカードの保険証利用の推進について協力依頼があり、本院も利用推進に取り組んでいるところです。

そのため、保険確認の際に、これまで「保険証をお持ちですか?」とお尋ねしていましたが、現在は「マイナンバーカードをお持ちですか?」とお尋ねし、お持ちでない場合は保険証を確認させていただきますが、次回来院時のマイナンバーカードの持参をお願いしておりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、各種医療証(公費負担医療受給者証、乳幼児医療費証、介護保険証、特定疾病療養受療証等)の確認は、マイナンバーカードで行うことが出来ないため従来通りご持参くださいますようお願いいたします。

(文責：医事課)

⚠️ ご注意ください!
本年12月2日から
現行の健康保険証は
発行されなくなります
※12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効です

マイナンバーカード
をご利用ください
今回お持ちでない方は次回ご持参ください



マイナンバーカードの保険証利用登録がまだの方
 ➡️ 利用登録は窓口(カードリーダー)でできます 

厚生労働省 HP より

とっても簡単! マイナンバーカード

- 1 受付**
マイナンバーカードをカードリーダーに置いてください。

- 2 本人確認**
顔認証または4桁の暗証番号を入力してください。
 or 
- 3 同意の確認**
診察室等での診療・服薬・健診情報の利用について確認してください。

過去の情報を 利用いたします	(40歳以上対象) 過去の情報を 利用いたします
<input type="checkbox"/> 同意しない	<input type="checkbox"/> 同意しない(40歳未満)
<input type="checkbox"/> 同意する	<input type="checkbox"/> 同意する

※高齢者医療費控除をご利用される方は、併せて同意確認をお願いします。
- 4 受付完了**
お呼びするまでお待ちください。

カードを忘れずに!

医療DXを通じた質の高い医療の提供にご協力ください。

   

厚生労働省 HP より

眼科学講座 教授 就任のご挨拶

大分大学医学部
眼科学講座 教授

ただ あつのぶ
武田 篤信



令和6年4月1日付けで眼科学講座の教授に着任いたしました。私は大分市出身で平成8年に九州大学医学部を卒業後、大学院、米国ケンタッキー大学留学を経て、帰国後には国立病院機構九州医療センター、九州大学病院などで眼科医としての臨床経験を積みました。眼科では網膜硝子体疾患、ぶどう膜炎を専門としており、それに関連して網膜硝子体手術、緑内障手術、白内障手術の研鑽を積んで参りました。

人が持っている感覚には五感がありますが、人は外界からの情報の8割以上を「視覚」から得るといわれています。また、日本は超高齢社会を迎え、人生100年時代と言われていています。眼科は「平均寿命」という意味では関わることは少ないですが、自分の意志で自由に日常生活を送ることができる期間を意味する「健康寿命」に大きく関わっています。今まで、眼科医として多くの患者さんの治療に携わってきました。この「視覚」が障害されることにより患者さんの生活が一変することを経験してきました。当たり前に見えていたものが見えなくなる恐怖は想像に堪えません。ですから、患者さんの眼を診るだけでなく、心に寄り添い誠心誠意向き合える眼科医を育てていく所存です。

大分大学医学部附属病院眼科では少人数のスタッフで、これまでも眼外傷、網膜剥離や増殖糖尿病網膜症、重症緑内障の救急疾患をはじめ、

眼科領域のあらゆる疾患に対応し、最善を尽くしてきました。しかし、今年度より医師の働き方改革により時間外勤務が月80時間に制限されており、教室の現行体制維持から更なる発展のためには職場環境を整えることが早急な課題と考えています。

私は教室員と共に大分県の地域医療の推進、大分大学における研究、医師の育成に尽力していきます。今後とも、ご支援とご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器・感染症内科学講座 教授 就任のご挨拶

大分大学医学部
呼吸器・感染症内科学講座 教授 小宮 幸作



2024年4月1日付けで、呼吸器・感染症内科学講座教授ならびに附属病院呼吸器・感染症内科診療科長を拝命致しました小宮幸作と申します。福岡県久留米市で育ち、宮崎医科大学を卒業した後は麻生飯塚病院にて研修医時代を過ごしました。呼吸器内科を志した理由は、同科は全身管理を必要とする救急疾患から慢性呼吸器疾患まで幅広く対象としており、さらには最期まで丁寧に患者さんに寄り添う当時の指導医に感銘を受けたためです。飯塚病院にて呼吸器内科医としての基本的な知識や技術を習得したのち、より専門的な見識を深めるために国立病院機構東京病院に異動しました。東京病院では、結核や非結核性抗酸菌症を含む呼吸器感染症をはじめ、間質性肺炎、悪性腫瘍、アレルギー疾患の臨床および関連する臨床研究の経験を積みました。その後、基礎研究を想定した大学院進学を検討していた折、縁あって当時門田淳一教授が主宰されていた大分大学医学部総合内科学第二講座（現在の呼吸器・感染症内科学講座）に入局致しました。

早いもので、大分に来て14年が過ぎました。この間、様々な呼吸器疾患でお困りの患者さんを診させていただきました。患者さんによっては、お会いするまでに様々な病院で治療を受けられたのちに次の一手を求めて受診される方もおられます。臨床医にとって重要なことは、世界中の最新知見を正しく解釈したうえで知識や技能をアップデー

トし、患者さんの悩みや不安に正面から向き合うことだと考えています。悩みや不安の多くは、治療の選択肢と可能性、そして将来の起こり得る臨床経過に対するものと認識しています。有効な治療が限られている状況も少なくありませんが、正確な最新情報を提供するとともに、患者さんの思いに寄り添いながら最善の医療を提供していきたいと考えています。また、医学生や研修医の教育にもより一層力を入れています。大学病院という特徴から、患者さんにご協力いただくこともあるかと思いますが何卒宜しくお願い申し上げます。

令和6年度 第1回 大分大学医学部附属病院 市民公開講座

先着 50名様 (無料)

事前にお申し込みは WEBでお申し込み!!

講演1: 肺炎の予防と治療、詳しく知って長生きしよう! 首藤 久之 先生 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 特任助教

講演2: 最近増えている非結核性抗酸菌症ってどんな病気? 藤島 宜大 先生 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 特任助教

講演3: 正しく知ろう! これからの新型コロナウイルスとの付き合い方 吉川 裕喜 先生 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 診療講師

小宮 幸作 先生 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 教授

開催日時: 令和6年7月20日(土) 14時~15時30分

開催場所: J:COM ホルトホール大分 303会議室

WEBでお申込の方はこちら
https://forms.gle/vz2ydwPqj7DEwJ9P
※お申し込みの受付は7月15日(日)23時59分までです。

FAXでお申込の方はこちら
FAX: 097-586-5119
※お申し込みの受付は7月15日(日)23時59分までです。

お問い合わせはこちら
TEL: 097-586-5120
E-mail: syomu@hobita.u-oita.jp
大分大学医学部附属病院 総務課(TEL: 097-586-5008~1788159)

申込 締切 7月8日(月)

大分大学医学部附属病院

7月20日(土) 14時からJ:COMホルトホール大分303会議室で市民公開講座を開催いたします。興味がありましたらぜひご参加ください!

令和6年度大分大学医学部附属病院 市民公開講座

本院における最新の治療や診療の情報等を大分県の皆様に広く知っていただくため、今年度も市民公開講座を開催します。

昨年度、開催後のアンケートでは、「分かりやすい」「役に立った」といった感想が多く寄せられています。参加費は無料ですが、事前の申込みが必要です。興味のある方はぜひお申込みください。

■開催スケジュール

	開催日時	担当講座・診療科	会場	定員	申込期間
第1回	令和6年7月20日(土) 14:00～15:30	呼吸器・感染症 内科学講座	J:COMホルトホール大分 303会議室	50名	6/1(土)～7/8(月)
第2回	令和6年9月29日(日) 14:00～15:30	腫瘍・血液 内科学講座	J:COMホルトホール大分 303会議室	50名	8/1(木)～9月上旬
第3回	令和6年10月20日(日) 14:00～15:30	内分泌代謝・膠原病・ 腎臓内科学講座	J:COMホルトホール大分 303会議室	50名	9/1(日)～10月上旬
第4回	令和6年11月10日(日) 14:00～15:30	精神神経医学講座	J:COMホルトホール大分 303会議室	40名	10/1(火)～11月上旬

今後、第5～6回(令和7年1月、令和7年3月)にも開催予定ですので、詳細は、ホームページ等でお知らせいたします。

■直近の開催予定

令和6年度第1回 大分大学医学部附属病院 市民公開講座

日時: 令和6年7月20日(土) 14:00～15:30

場所: J:COMホルトホール大分303会議室

テーマ: 「気をつけたい呼吸器感染症」 担当講座: 呼吸器・感染症内科学講座

講演①「肺炎の予防と治療、詳しく知って長生きしよう！」

講演②「最近増えている非結核性抗酸菌症ってどんな病気？」

講演③「正しく知ろう！ これからの新型コロナウイルスとの付き合い方」

申込締切: 7月8日(月)

WEB申込は
こちらから！



■お問い合わせ

大分大学医学部附属病院 総務課 TEL: 097-586-5120 E-mail: syomu@oita-u.ac.jp

(文責: 総務課)

大分空港国内線ターミナルに電照広告を掲出いたしました

大分大学医学部附属病院を、大分県の中核的医療機関として多くの方々に広く認知していただくとともに、患者さんに安心して受診していただくことを目的として、大分空港国内線ターミナル2階出発ロビーに電照広告を掲出いたしました。

大分空港にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



(文責: 総務課)



「臨床工学技士って どんな仕事？」

皆さんは臨床工学技士という職種をご存知でしょうか？

今回は「臨床工学技士」の行っている仕事についてご紹介します。

私たち臨床工学技士は医療機器の専門医療職で、医師の指示のもと医療機器の操作や保守点検を行います。代表的な業務として血液透析や人工呼吸器、新型コロナウイルス感染症で一躍有名になったECMOエックモの操作も行います。医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んでさまざまな治療に携わっています。また、輸液ポンプなどの医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っています。

当院では、以下の6つのセクションに分かれて業務を行っています。

手術部：全身麻酔のときに使用する麻酔器の点検やロボット手術装置の準備、心臓手術のときに使用する人工心臓の操作などさまざまな診療科の手術のサポートをしています。

循環器内科：心臓カテーテル検査・治療、不整脈治療のカテーテルアブレーションのサポートを行っています。また、外来でのペースメーカーのチェックも行っています。

集中治療部：呼吸や循環が不安定で、複数の臓器に障害を負った重症の患者さんが入室されます。そのため、一時的に障害を負った臓器のサポートをする医療機器の操作を行っています。

救命救急センター：救急医療と集中治療が同時に行われる部署で、呼吸・代謝・循環の状態を安定させるためのさまざまな医療機器への対応を行っています。また、Dr.ヘリやDr.カーでの重症患者搬送にも対応しています。

血液浄化センター：腎臓の代わりにする血液透析をはじめ、体の外で血液を循環させて体内にある病因物質を除去する治療や白血病などの治療である骨髄移植に必要な幹細胞の採取を行っています。

ME機器センター：点滴をする際に使用する輸液ポンプや人工呼吸器などの医療機器の点検や修理を実施し、安全に使用できるよう管理しています。

このように私たち臨床工学技士は医療機器を通じて患者さんの治療に貢献しています。

(文責：臨床工学技士 溝口 貴之)



手術部での麻酔器の点検



血液浄化センターでの血液透析



ME機器センターでの医療機器の修理

あなたの声
を
待っております

良い病院になるために

患者さんの声は、要約して載せておりますので
ご了承ください。



声

ナースコールを押しても何の返事もなく（以前は返事があった。）使い方の説明もなかったので戸惑いました。夜間でナースステーションに人がいなかったかもしれません。

回答

この度はご意見ありがとうございます。またご迷惑をお掛けして申し訳ございません。コールを押した場合、昼間は看護師が声を出して応答しますが、夜間は睡眠中の方がいることもあり、ナースコールで返答をせずに、すぐに訪室するようにしています。また、使い方等でご不明な点がございましたらお気軽に病棟スタッフにお声掛けください。



声

車椅子で1階を移動中、業者さんの荷物運搬中の台車とぶつかりかけたことがありました。見通しの悪い角にカーブミラーを取り付けるのはどうでしょうか。

回答

この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回、いただいたご意見をもとに、ご指摘いただいた場所以外にも危ない場所がないか院内の点検を行いました。現在、ご指摘いただいた場所以外にも数ヶ所にカーブミラーを設置することを検討しています。また、同時に職員や外部業者に院内での移動についての注意喚起を行いました。今後も患者さんが安心・安全に受診できる環境づくりに努めて参ります。



＼感謝の声 /

声

毎朝のパンが温かくうれしかったです。ごはん茶碗の内側がピンクで、かわいいだけでなく米飯の量や位置が見やすかったです。おつゆのお椀も内側から3方向に溝があり、飲み込みやすく、持ち手の切れ目が指にフィットして飲みやすかったです。



回答

うれしいお言葉ありがとうございます。食器につきましては、栄養士と調理師で、「患者さまが、入院中においても少しでも楽しい気持ちでお食事ができるように、よりおいしく感じていただけるように」と考え選んできました。特に今回のお茶碗を選ぶ際には、まさに、いただいたお言葉のとおりのことを考えて選びましたので、大変うれしく思います。今後も、患者さまの健康回復の一助となれるよう、栄養管理室スタッフ一同努めて参ります。

（文責：病院長）



大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)
大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

